

2019年度 第2四半期 決算説明会

第96期:第2四半期累計期間 (2019年4月1日~2019年9月30日)

2019年11月20日



太平洋互業株式会社

目次

1. 会社概要
2. 2019年度第2四半期業績
3. 2019年度通期予想
4. 新中期経営計画「OCEAN-22」

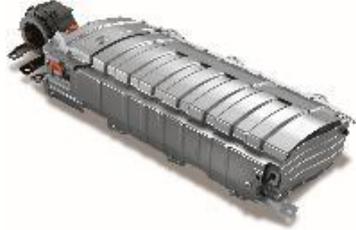
本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

1-1 当社の主な事業

プレス・樹脂製品事業

プレス製品



■ハイブリッドバッテリーケース



■オイルパン



■センターピラー



■フードロックリフォース



■ラゲージヒンジ



■フロントピラーロア



■フロントピラーアッパー



■ワンウェイクラッチプレート

樹脂製品



■センターオーナメント



■ホイールキャップ



■エンジンカバー



■アクセルペダル



バルブ製品事業

バルブ製品



■バルブコア



■チューブレスバルブ



■チャージバルブ



■リリーフバルブ



■燃料系バルブ

TPMS製品



■送信機

1-2 グループ会社の概要

国内8工場、連結子会社18社、海外8カ国で事業展開

JCR格付
A-(安定的)

プレス・樹脂製品事業

バルブ製品事業

その他

個別

国内連結子会社

ピーアイシステム(株)

太平洋産業(株)

持株会社等

Pacific Industries
USA Inc.

太平洋工業(中国)
投資有限公司

August France
Holding Company
SAS

連結

日本(持分法適用会社)

PECホールディングス株式会社

個別	中部	西大垣工場	東大垣工場	北大垣工場	美濃工場
			養老工場		
	九州	九州工場			
	東北	栗原工場	若柳工場		

台湾	太平洋汽門工業股份有限公司
----	---------------

タイ	Pacific Industries (Thailand) Co., Ltd
----	--

	Pacific Auto Parts (Thailand) Co., Ltd
--	--

米国	Pacific Manufacturing Ohio, Inc.
----	----------------------------------

	Pacific Manufacturing Tennessee, Inc.
--	---------------------------------------

	Schrader-Bridgeport International, Inc.
--	---

中国	天津太平洋汽車部件有限公司
----	---------------

	太平洋汽車部件科技(常熟)有限公司
--	-------------------

	長沙太平洋半谷汽車部件有限公司
--	-----------------

韓国	太平洋バルブ工業株式会社
----	--------------

	太平洋エアコントロール工業株式会社
--	-------------------

ベルギー	Pacific Industries Europe NV/SA
------	---------------------------------

フランス	Schrader SAS
------	--------------

イギリス	UK Service Office (支店)
------	------------------------

1-3 コーポレート・ガバナンス

コーポレートガバナンス・コード改定に伴う体制強化

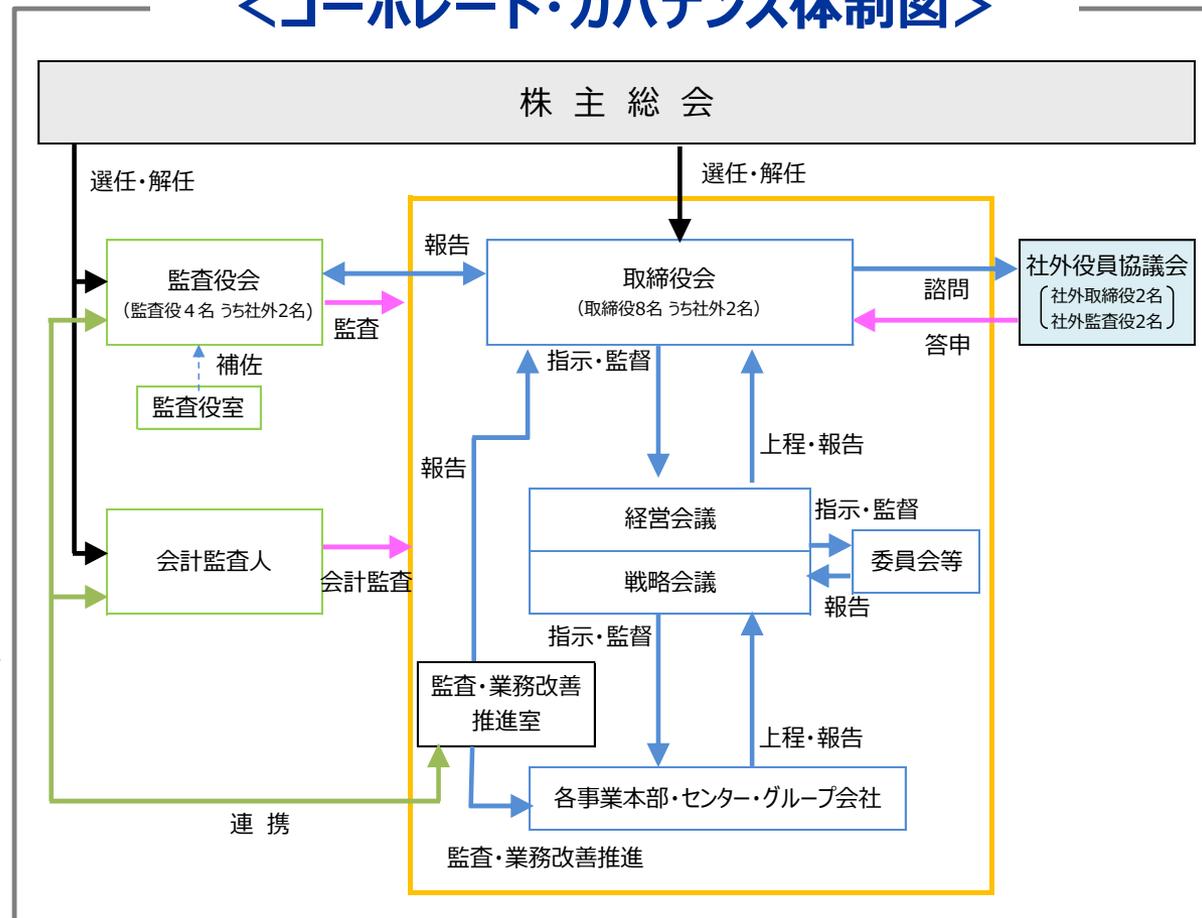
■ 女性社外取締役の選任

- ・取締役会の多様性を確保するための体制構築

■ 社外役員協議会の機能強化

- ・重要事項、取締役の指名・報酬等を協議・助言する体制構築

＜コーポレート・ガバナンス体制図＞



1. 会社概要
2. 2019年度第2四半期業績
3. 2019年度通期予想
4. 新中期経営計画「OCEAN-22」

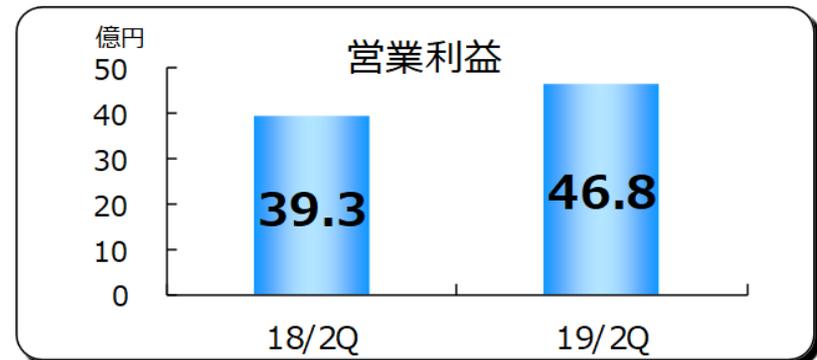
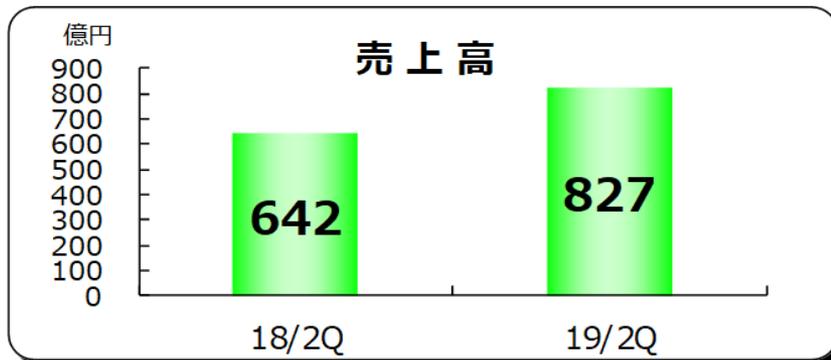
2-1 第2Q 連結業績

売上高、営業利益は増収増益(過去最高)

(百万円、%)

	前第2 四半期累計 *1	第2四半期累計			前年同期比			
		4/25 前回予想	実績	前回予想比		増減		増減率
				増減	増減率			
売上高	64,285	78,000	82,765	4,765	+6.1	18,479	+28.7	3期連続の増収 過去最高
営業利益	3,933 6.1%	4,900 6.3%	4,683 5.7%	△217	△4.4	749	+19.1	2期連続の増益 過去最高
経常利益	5,064 7.9%	5,400 6.9%	4,935 6.0%	△465	△8.6	△128	△2.5	3期振りの減益
四半期純利益	3,824 5.9%	3,800 4.9%	3,473 4.2%	△327	△8.6	△350	△9.2	3期振りの減益

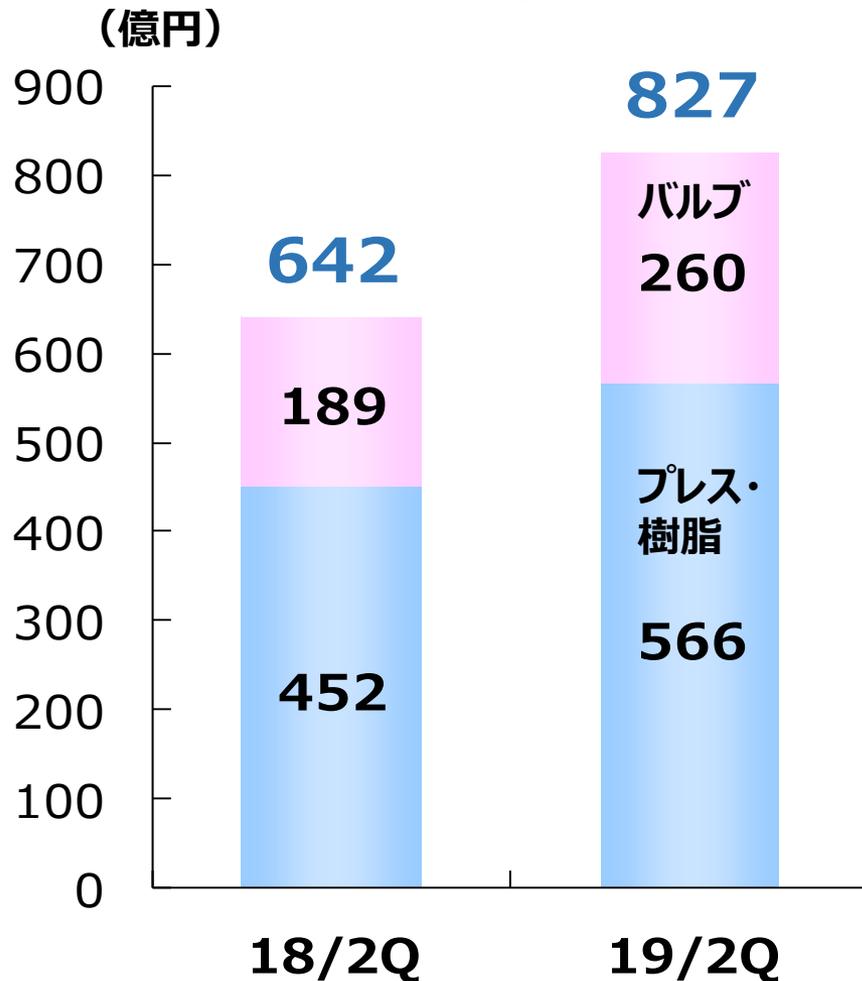
*1 18.9月期の暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を表示しております。



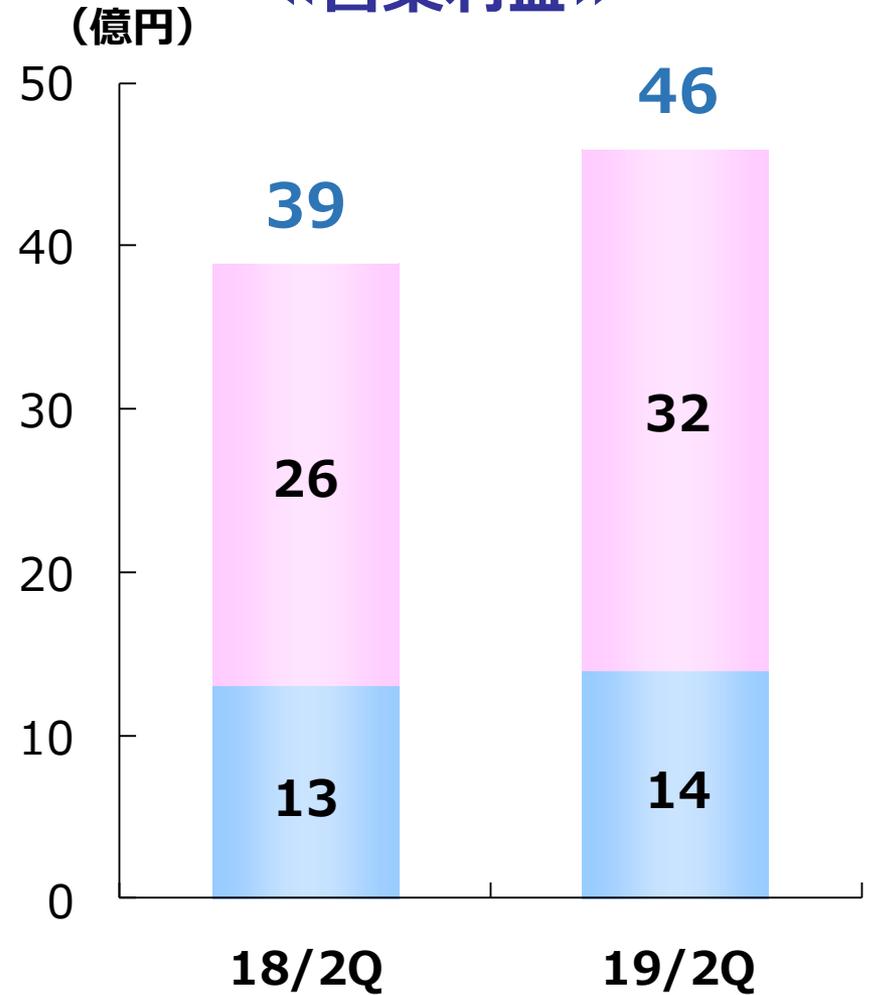
2-3 第2Q 連結事業別セグメント

プレス・樹脂製品事業、バルブ製品事業ともに増収増益

《売上高》



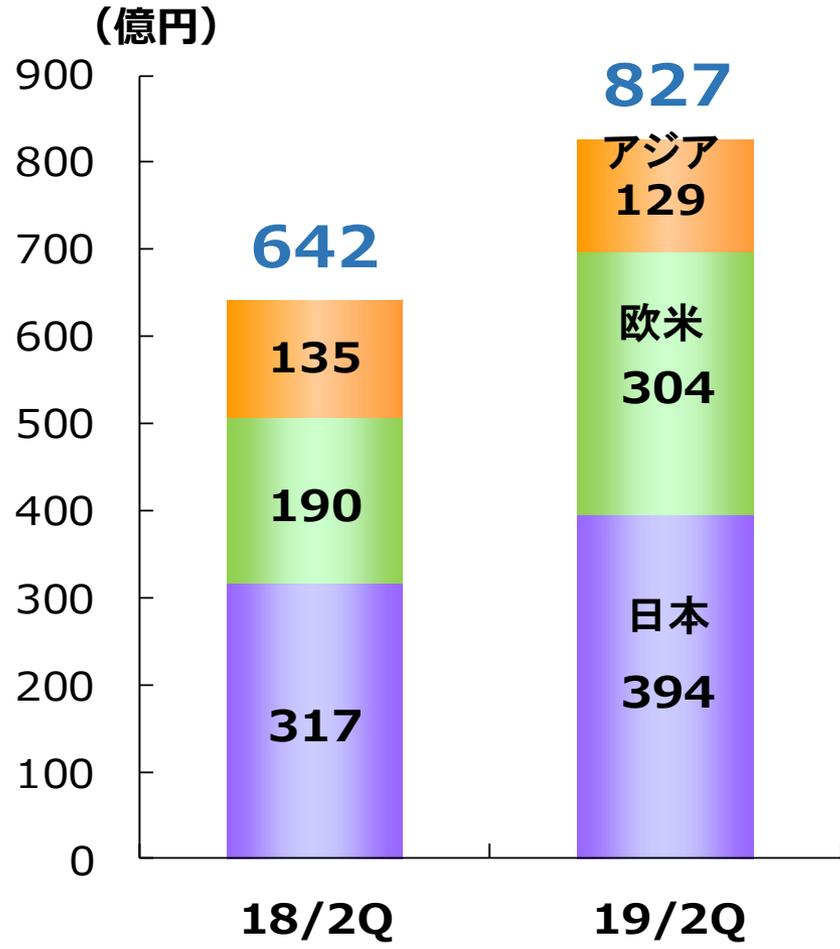
《営業利益》



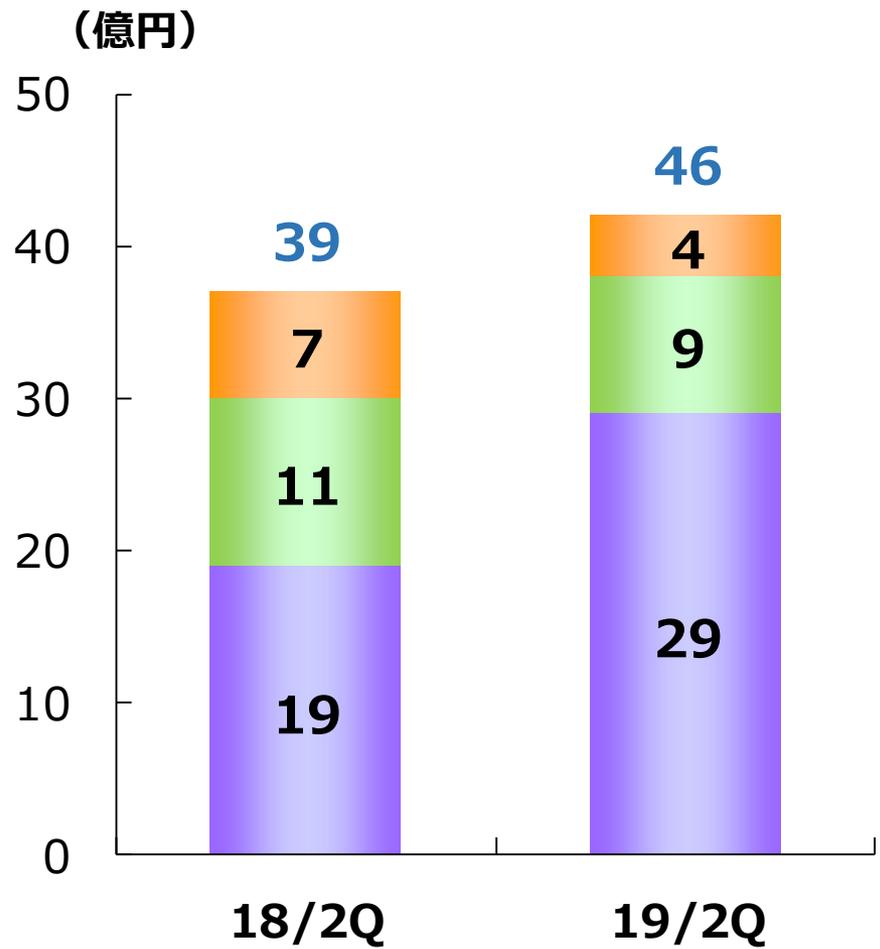
2-4 第2Q 連結地域別セグメント

日本は増収増益、欧米は増収減益

《売上高》

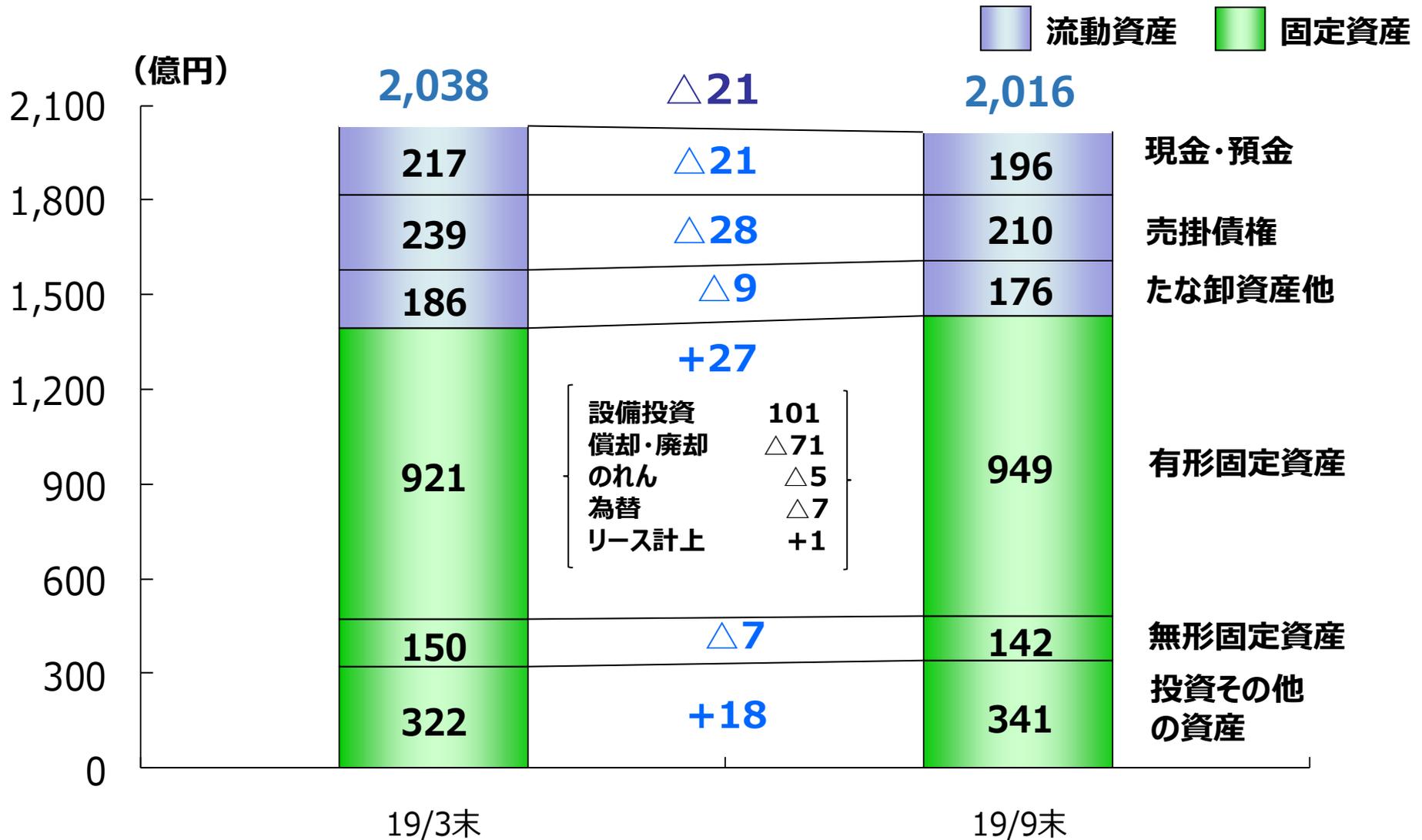


《営業利益》



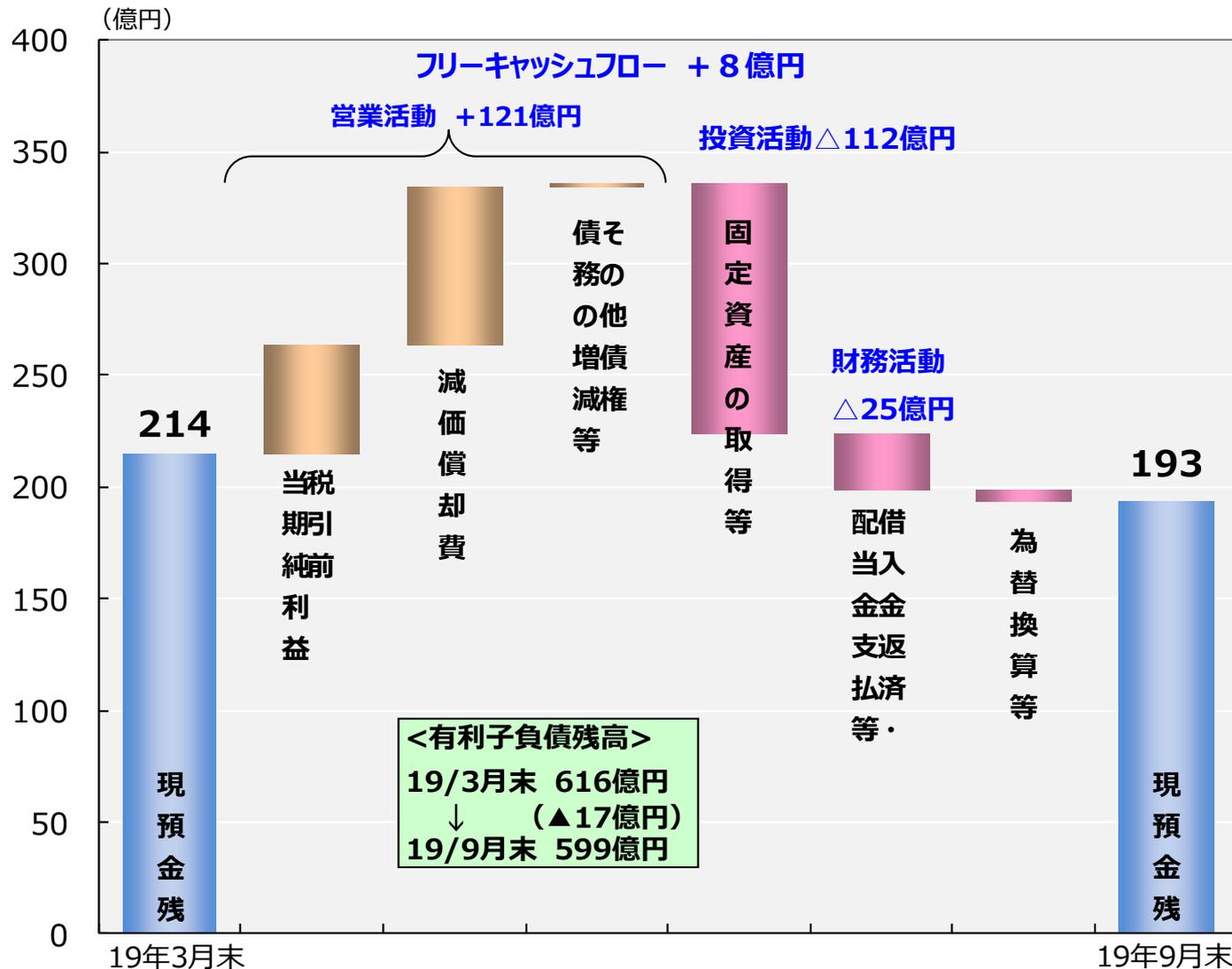
2-5 第2Q 連結総資産増減内訳

流動資産が減少し、総資産は減少



2-6 第2Q 連結キャッシュ・フロー

フリーキャッシュフローは + 8 億円



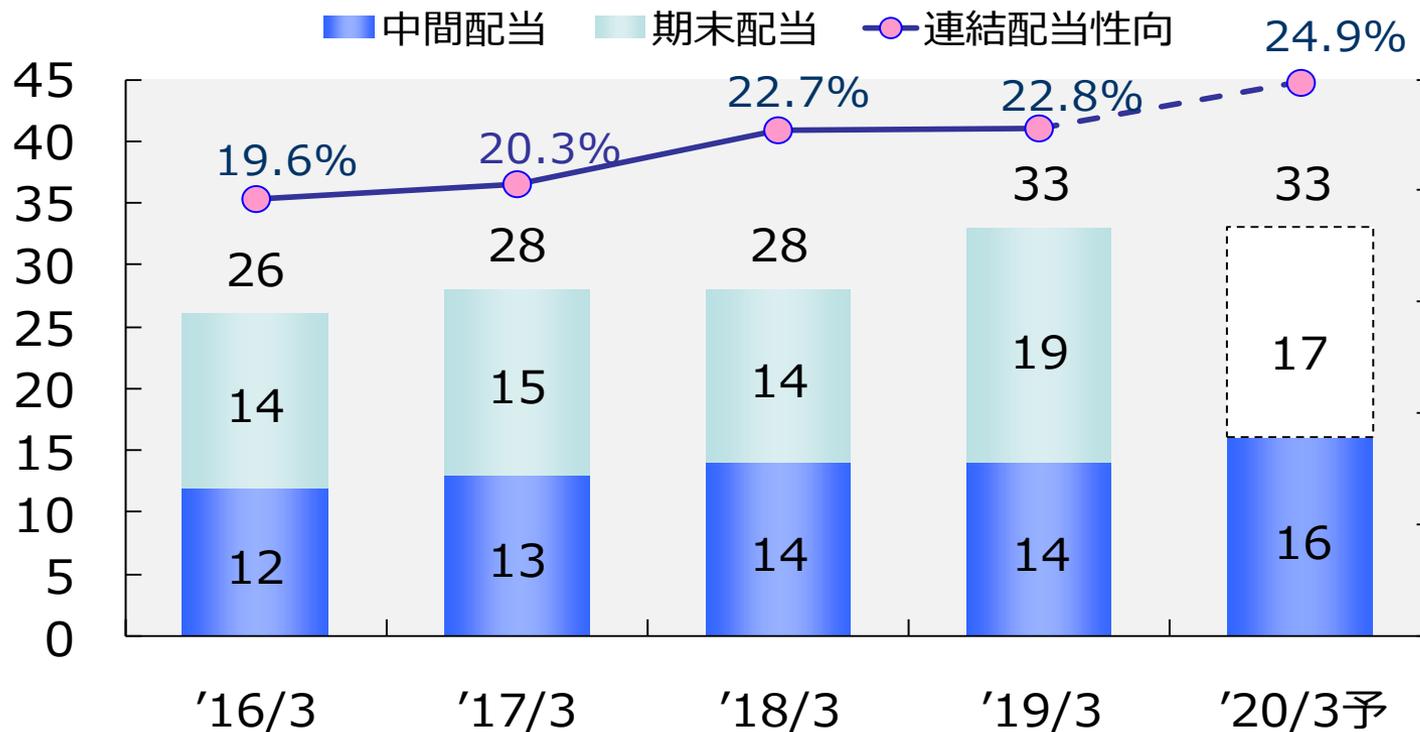
2-7 株主還元

配当は前期と同額を予定

■ 年間配当

2018年度 年間：33円（中間：14円 期末：19円）

2019年度予想 年間：33円（中間：16円 期末：17円）



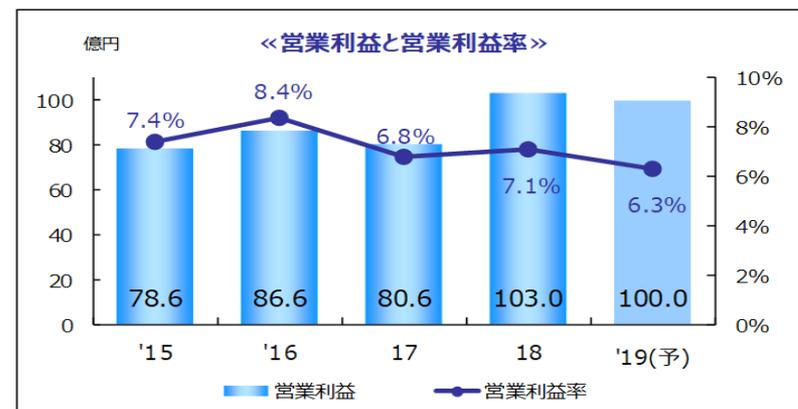
1. 会社概要
2. 2019年度第2四半期業績
3. 2019年度通期予想
4. 新中期経営計画「OCEAN-22」

3-1 通期 連結 業績予想

通期予想を変更（売上高を上方修正）

[百万円]

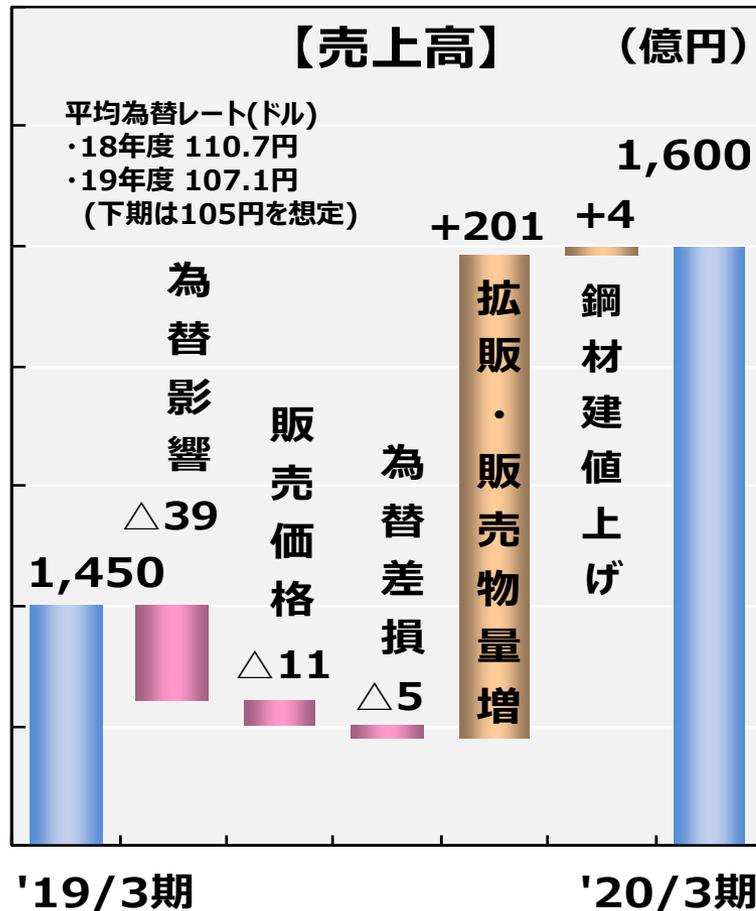
	'17	'18	'19 (4/25予想)	'19 (今回予想)	前回予想比		前期比		通期（予想）
					増減	増減率	増減	増減率	
売上高	117,758	145,030	155,000	160,000	5,000	3.2%	14,970	10.3%	3期連続の増収 過去最高
営業利益	8,063	10,307	10,000	10,000	0	0.0%	△307	△3.0%	2期振りの減益
経常利益	9,485	11,767	11,000	11,000	0	0.0%	△767	△6.5%	2期振りの減益
当期純利益	7,393	8,730	8,000	8,000	0	0.0%	△730	△8.4%	2期振りの減益
売上営業利益率	6.8%	7.1%	6.5%	6.3%	△0.2%		△0.8%		
ROE	8.5%	9.3%	8.1%	8.1%	0.0%		△1.2%		
ROA (営業利益 \div - λ)	5.4%	5.7%	4.8%	4.9%	0.1%		△0.8%		
一株当たり 純資産 ^(円)	1,508	1,590	1,666	1,662	△4	-0.2%	72	4.5%	



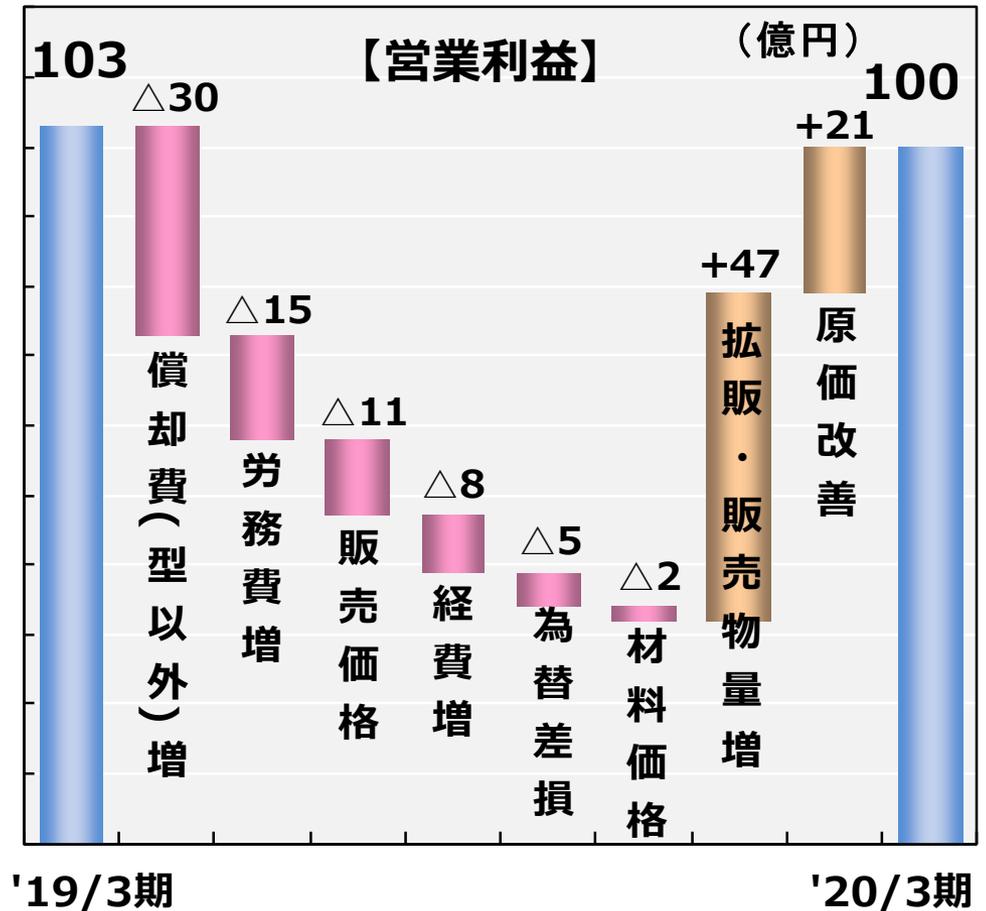
3-2 通期 連結 営業利益増減要因

増収なるも、償却負担等が重く、減益を見込む

《19年度予想 対 18年度》
売上+149億円

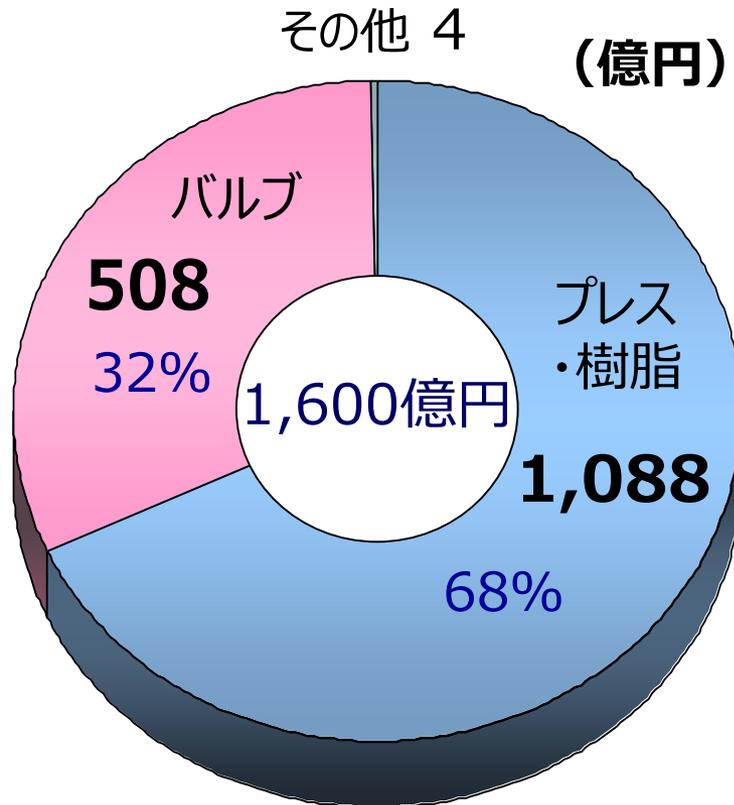


《19年度予想 対 18年度》
営業利益△3億円



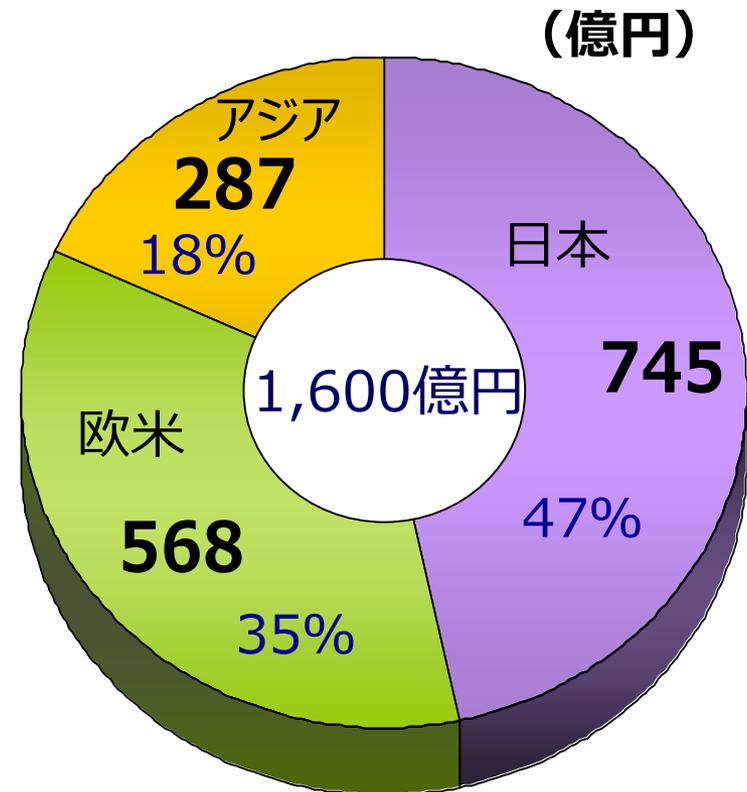
3-3 2019年度 連結セグメントの予想

事業別売上高



【プレス・樹脂製品事業】 自動車用プレス・樹脂製品
 【バルブ製品事業】 タイヤバルブ、空調用等バルブ、TPMS
 【その他】 情報・サービス

地域別売上高

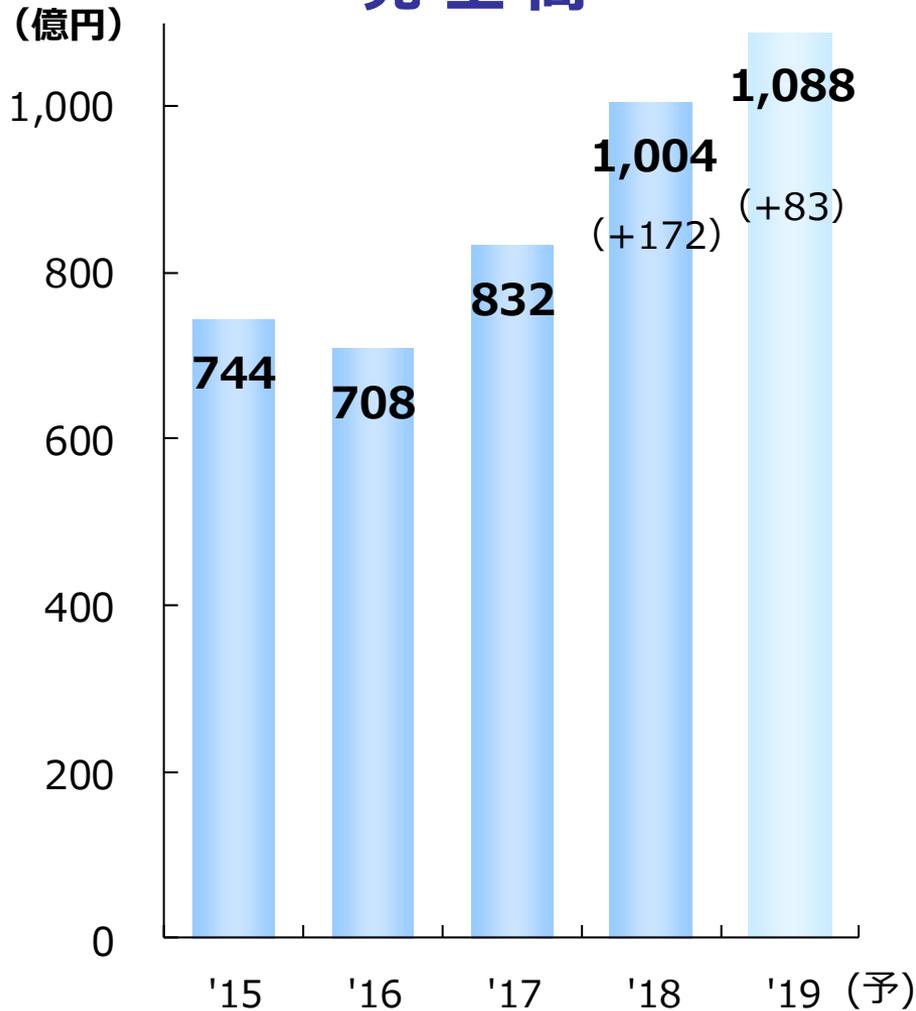


【日本】 大垣・九州・東北の3拠点体制
 【欧米】 米国・フランス・ベルギー
 【アジア】 台湾・韓国・タイ・中国

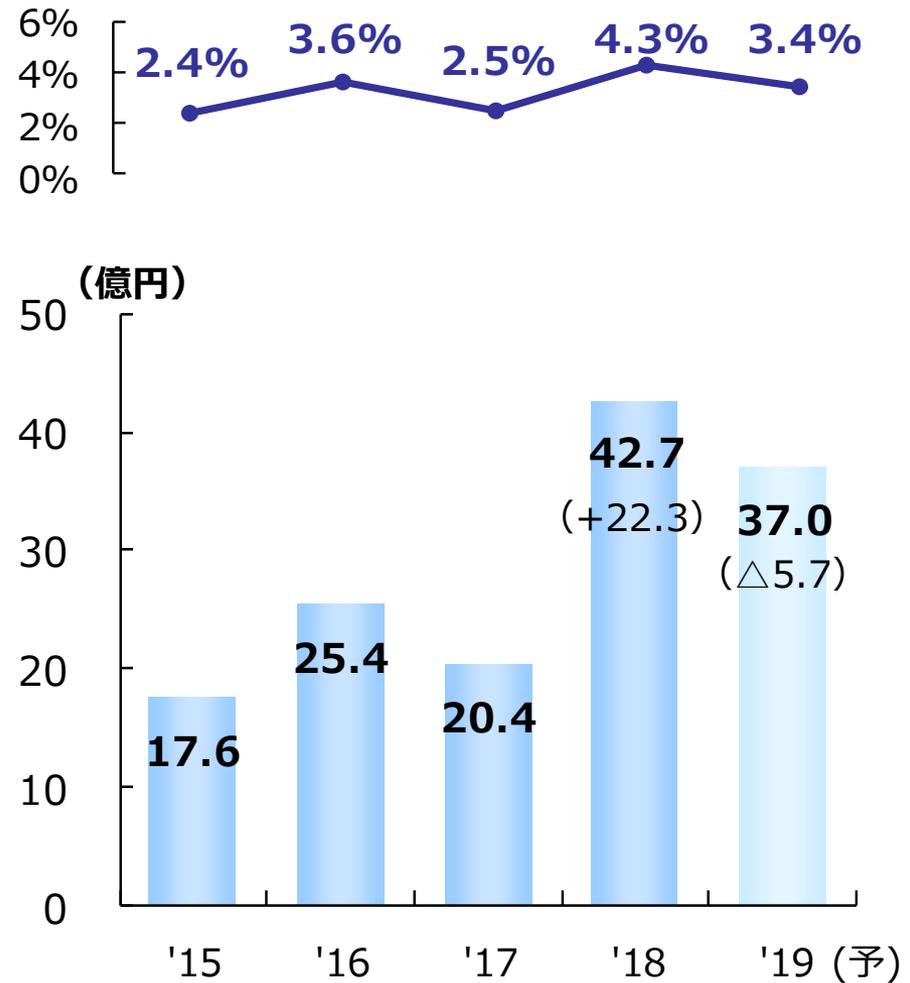
3-4 事業別セグメント：プレス・樹脂製品事業

新製品売上が寄与し増収、償却負担等により減益

売上高



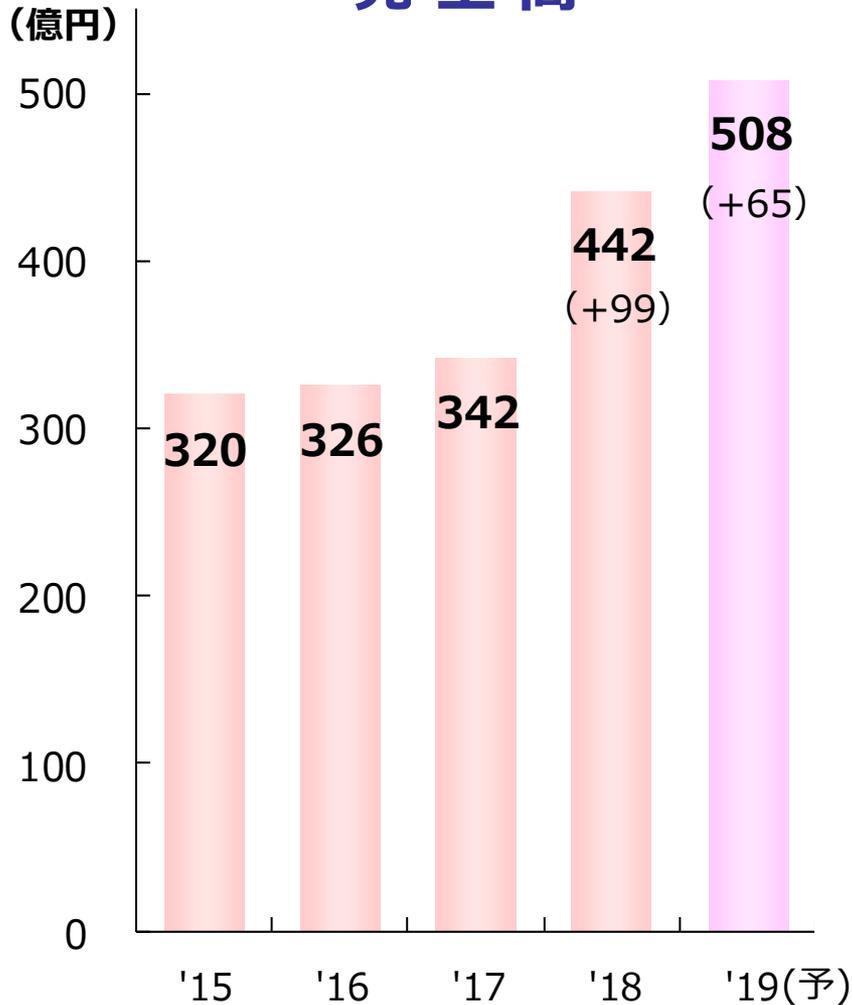
営業利益



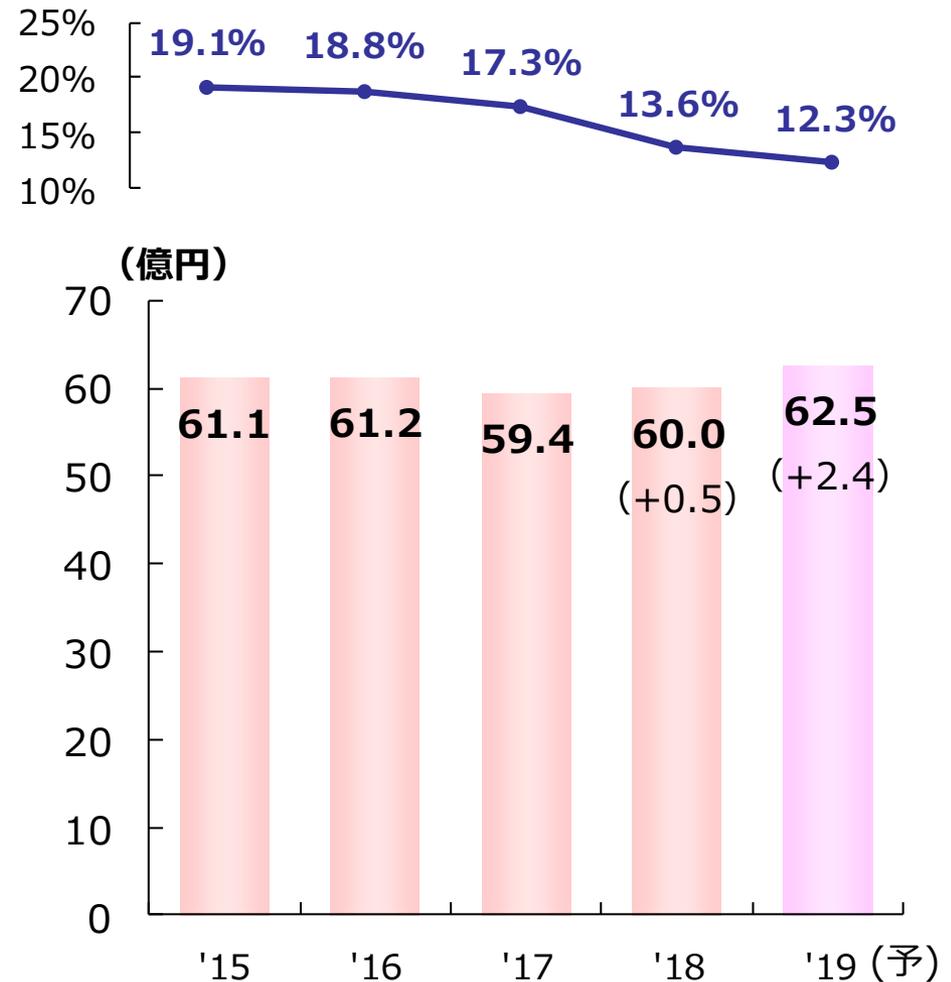
3-5 事業別セグメント：バルブ製品事業

為替差損・のれん償却等あるも、増収増益

売上高



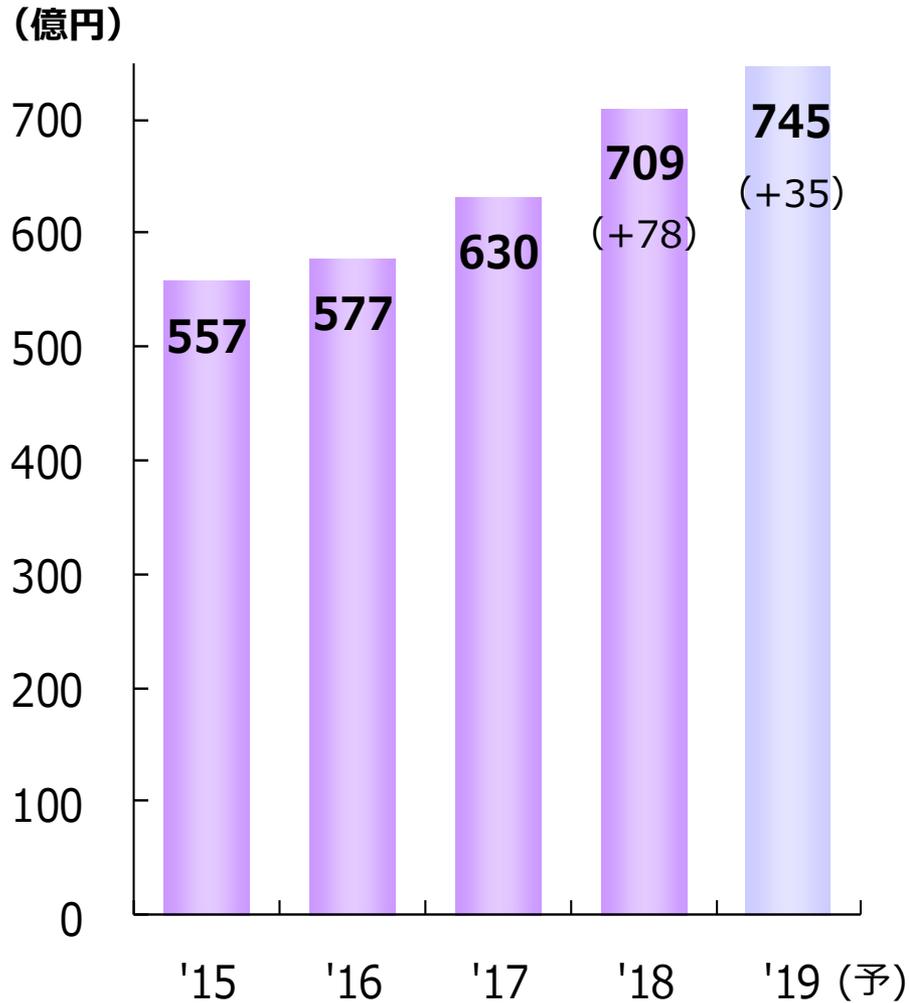
営業利益



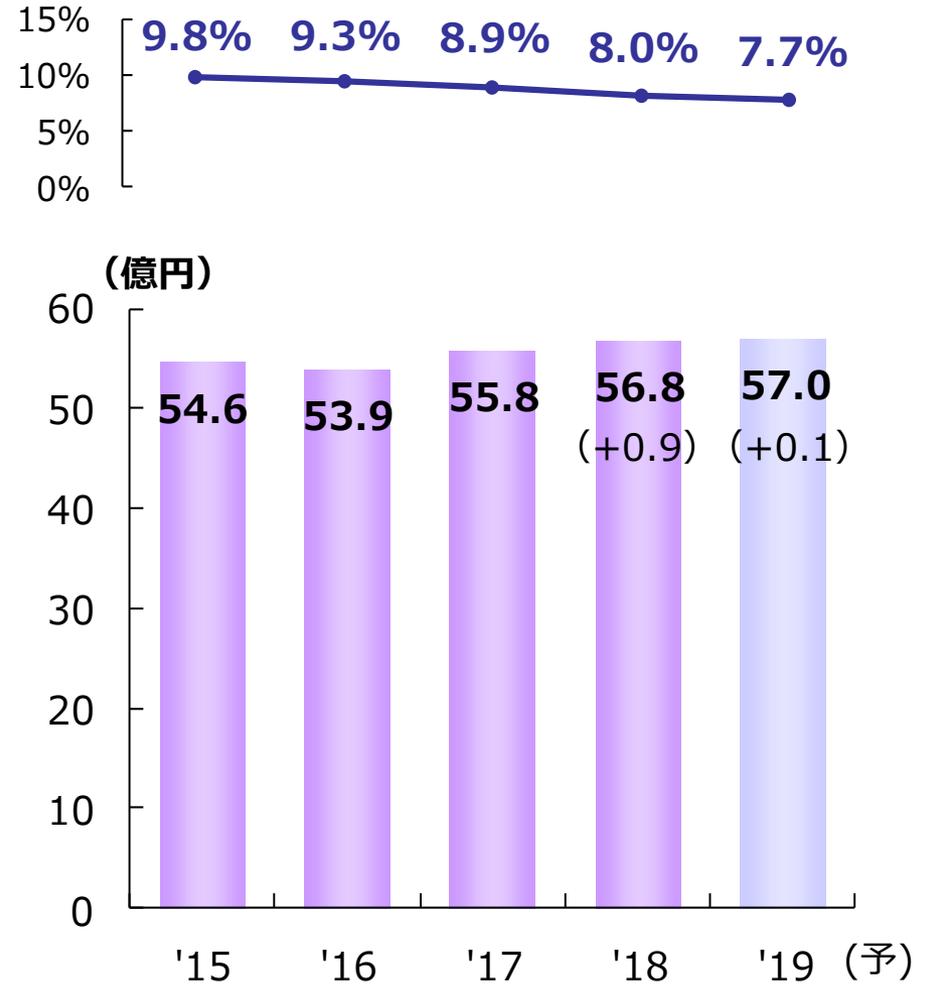
3-6 地域別セグメント：日本

売上高は増収、利益は償却増・為替差損等により横ばい

売上高



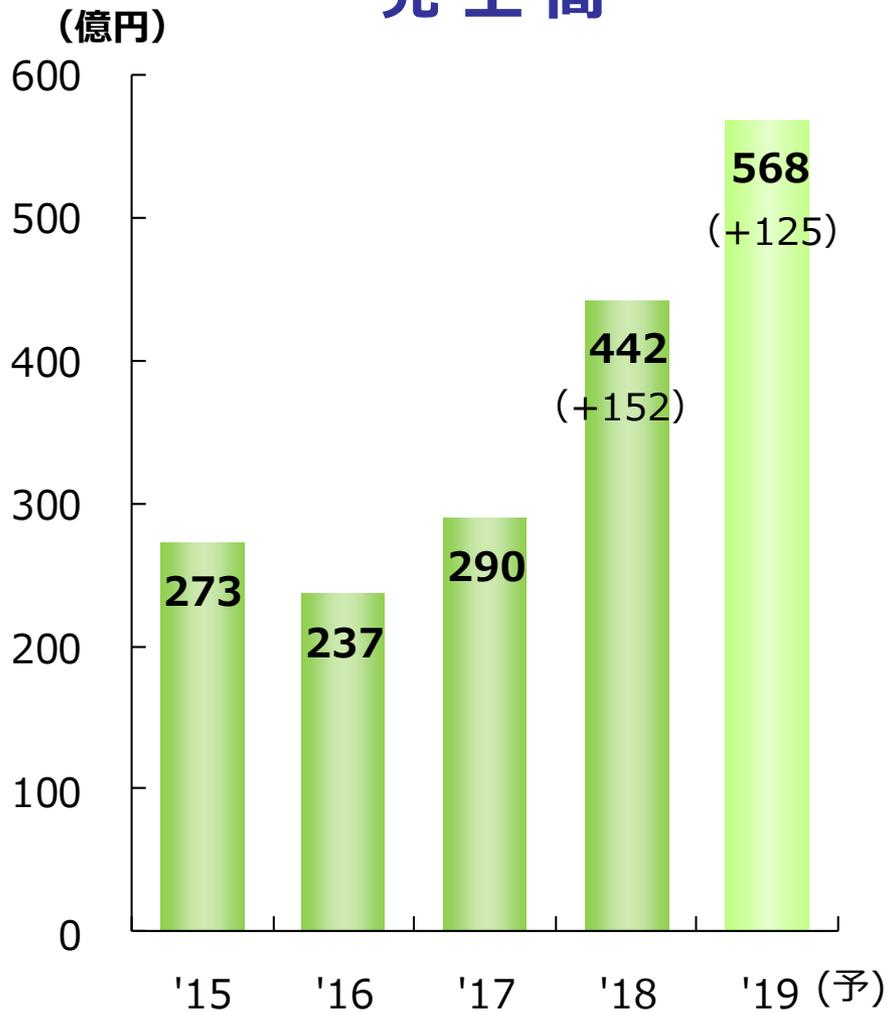
営業利益



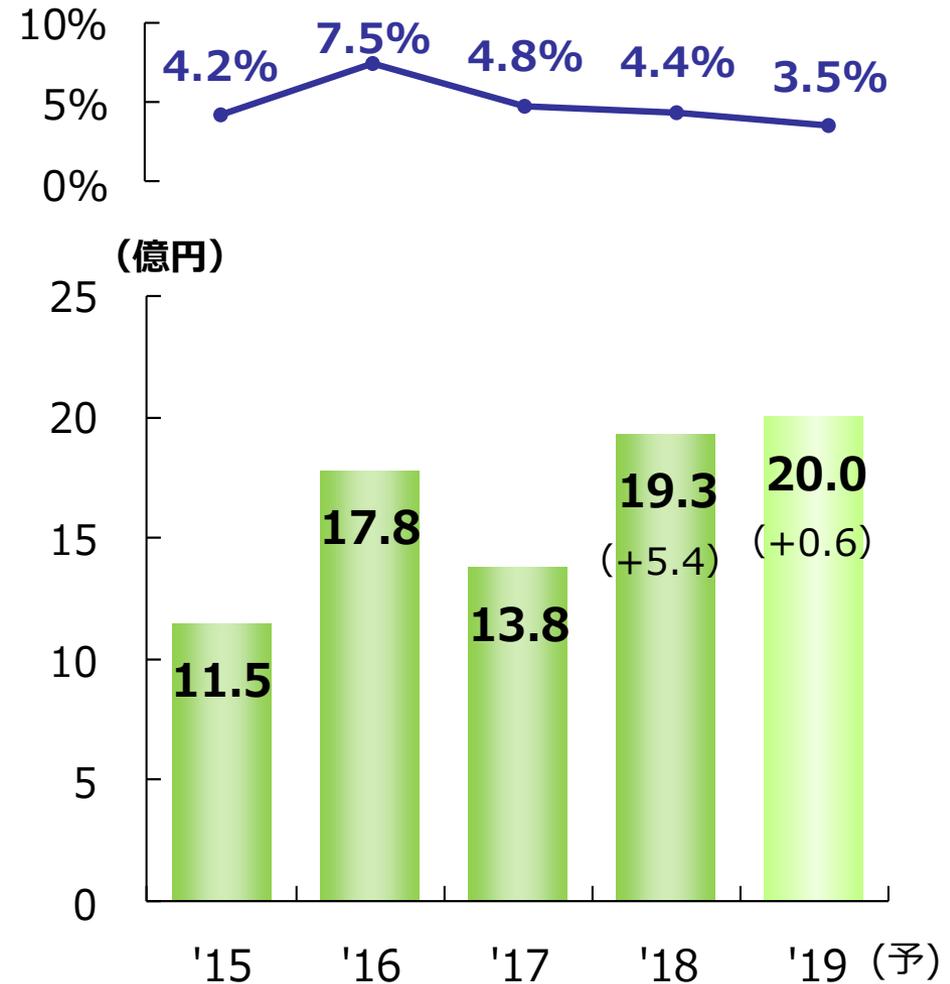
3-7 地域別セグメント：欧米

事業取得・プレス製品拡販で増収、利益は償却増等で横ばい

売上高



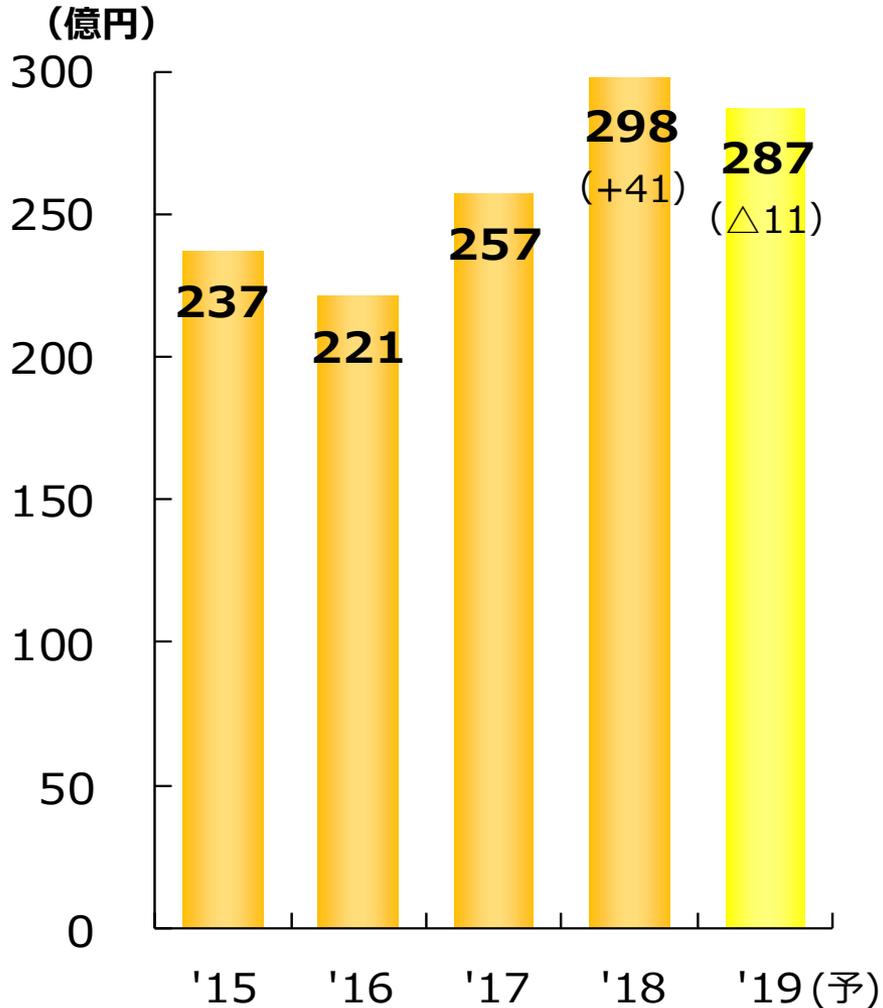
営業利益



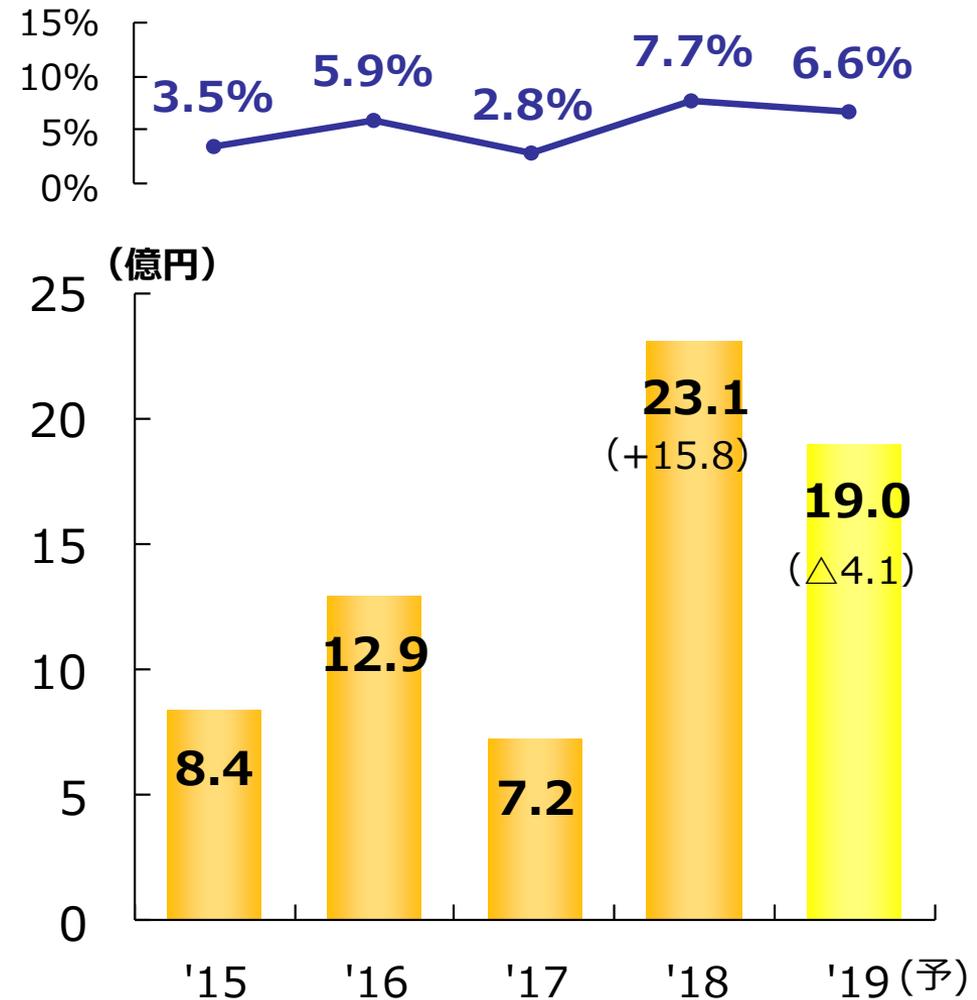
3-8 地域別セグメント：アジア

為替差損・タイ新設子会社の償却費増により減益

売上高



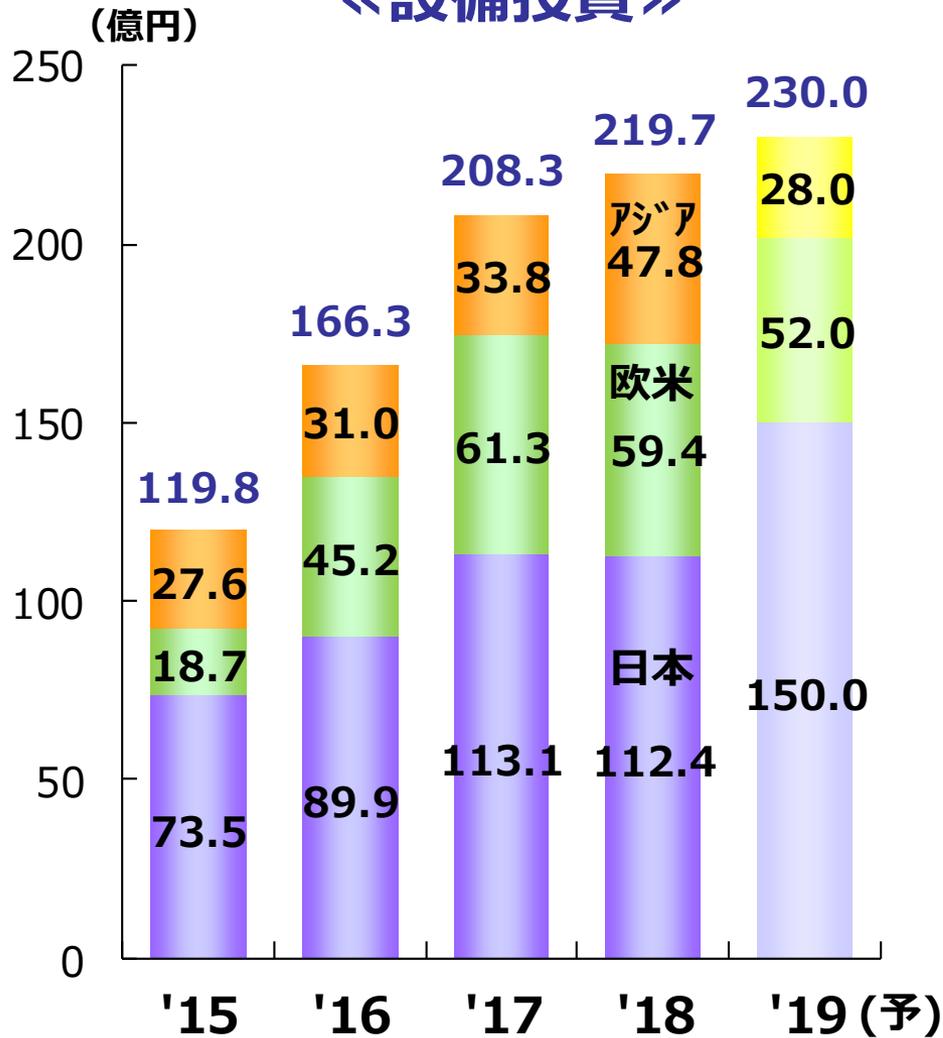
営業利益



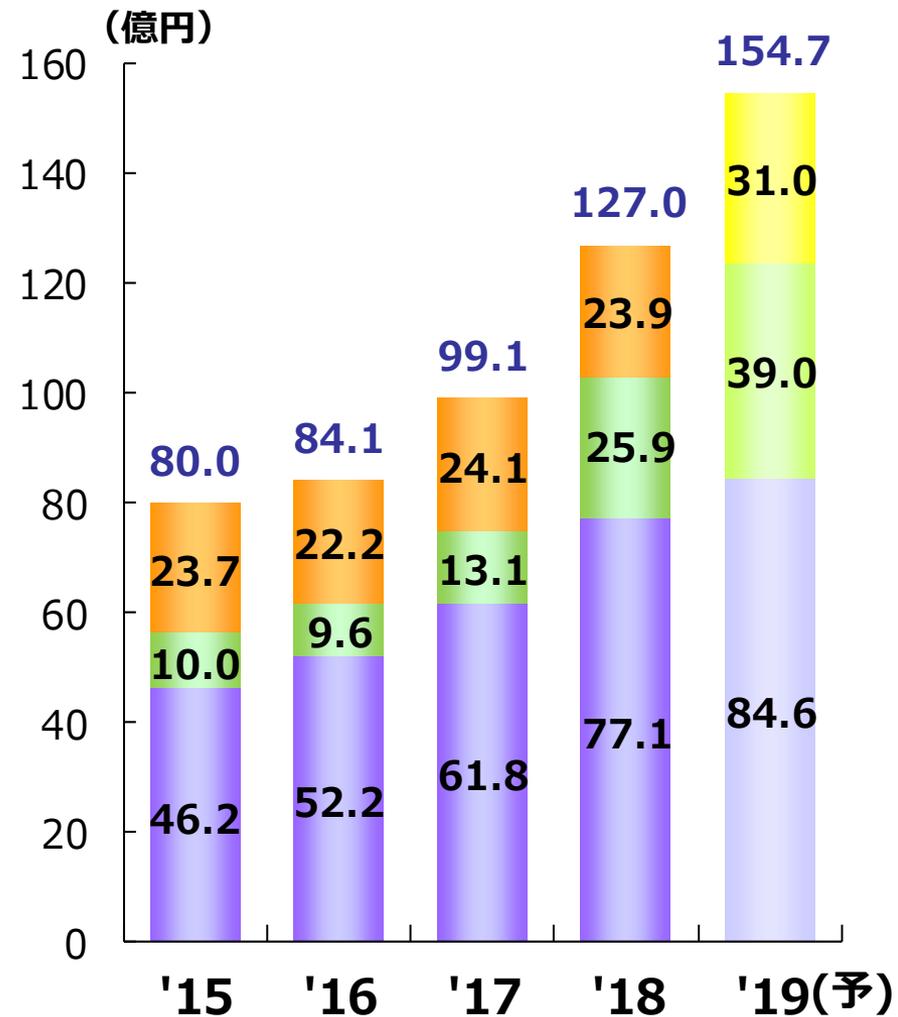
3-9 連結設備投資・減価償却費予想

戦略的な設備投資により、償却費が増加

《設備投資》



《減価償却費》

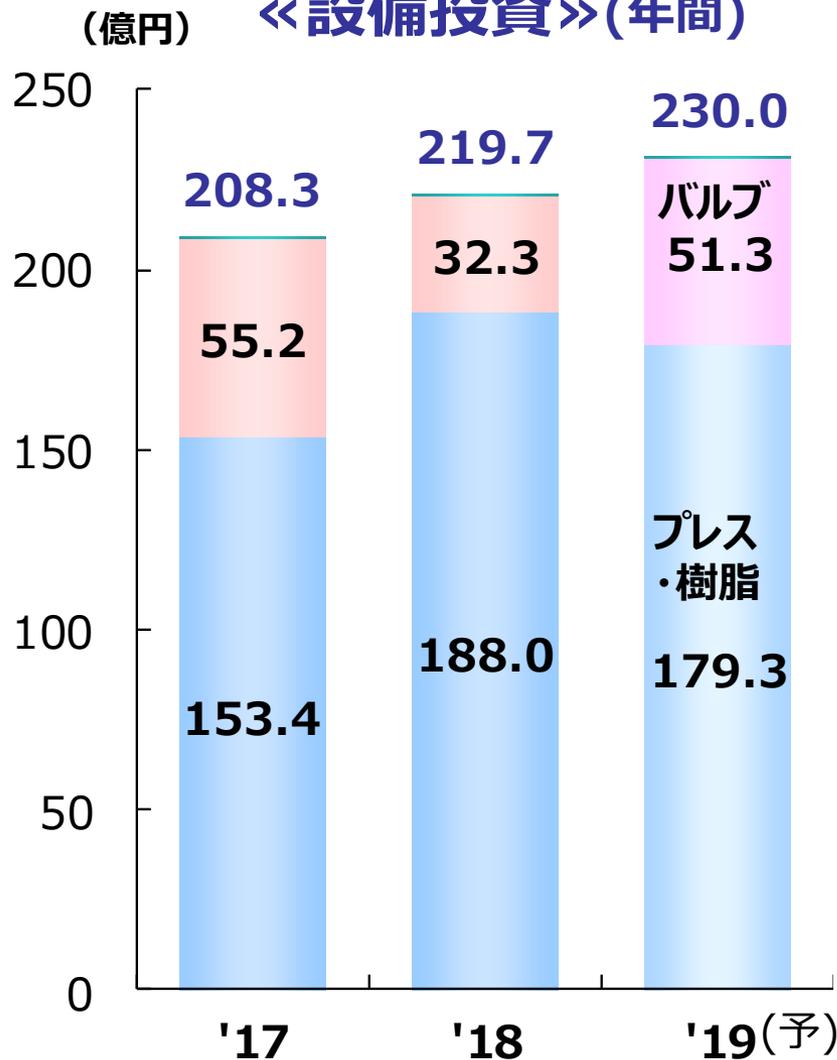


3-10 主な戦略投資の内容

超ハイテン・TPMS等、戦略的投資を推進

「設備投資」(年間)

「主要アイテム」



■バルブ製品事業

SCHRADERシナジー
 米国・中国:TPMSライン
 韓国:アルミダイカストライン
 日本:鍛圧設備

■プレス・樹脂製品事業

米国・タイ・中国・台湾・日本
 : 冷間超ハイテン用大型プレス
 米国: ホットスタンプ
 他、新規製品立上げのための投資等

3-11 個別業績

売上高、各利益いずれも過去最高

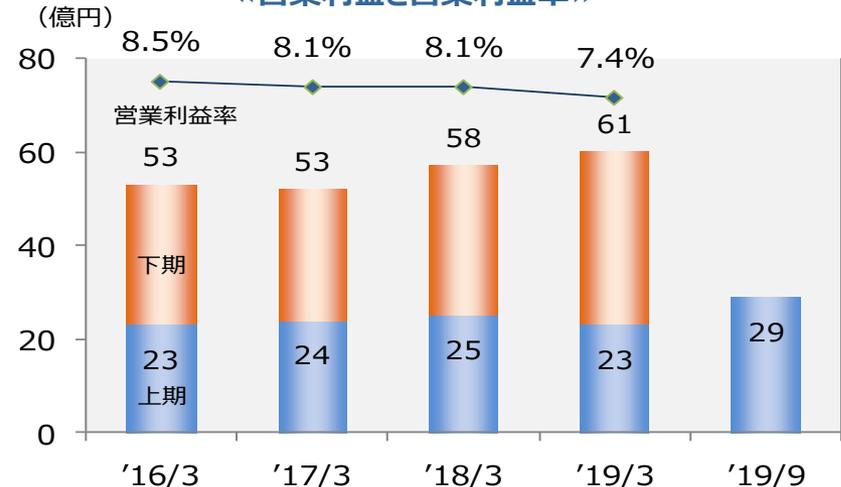
単位：百万円

	18.9月期		19.3月期		19.9月期（当期）		前年同期比		当第2四半期 累計
	（実績）	売上比	（実績）	売上比	（実績）	売上比	増減額	増減率	
売上高	38,473	100.0%	83,562	100.0%	45,260	100.0%	6,787	17.6%	5期連続の増収 過去最高
営業利益	2,370	6.2%	6,146	7.4%	2,910	6.4%	539	22.8%	2期振りの増益 過去最高
経常利益	3,784	9.8%	7,871	9.4%	4,633	10.2%	849	22.4%	3期連続の増益 過去最高
四半期（当期）純利益	2,869	7.5%	5,895	7.1%	3,550	7.8%	680	23.7%	3期連続の増益 過去最高
1株当り四半期（当期）純利益	47.26円	-	97.06円	-	58.36円	-	11.10円	-	-

《売上高と売上伸率》



《営業利益と営業利益率》



1. 会社概要
2. 2019年度第2四半期業績
3. 2019年度通期予想
4. 新中期経営計画「OCEAN-22」

4-1 新中期経営計画「OCEAN-22」

次なる飛躍に向けた足元固めに注力

2018年度実績

連結売上高
1,450億円

連結営業利益率
7.1%

ROA(営業利益)
5.7%

2022年度目標

連結売上高
1,750億円

連結営業利益率
7%台

ROA(営業利益)
6%台

(億円)

1,800

1,500

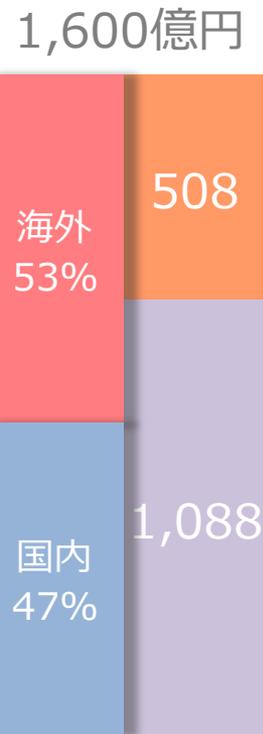
1,000

500

0



2018年度 実績



2019年度 予想



2022年度 目標

4-2 外部環境認識

100年に一度の大変革

【規制強化】

- ・安全規制
- ・環境規制

【業界動向】

- ・新興国市場拡大
- ・技術の多様化
- ・異業種参入
- ・ものづくり革新

【社会的要求】

- ・ESG
- ・SDGs

安全性能・環境性能・快適性能の向上

CASE

MaaS

軽量化

Connected

Shared

Autonomous

Electric

- ・鉄の使い切り
- ・NV性能
- ・マルチマテリアル

モビリティ
社会

当社方針

業界動向・顧客ニーズに応える技術開発・拠点整備

4-3 軽量化プレス製品の開発

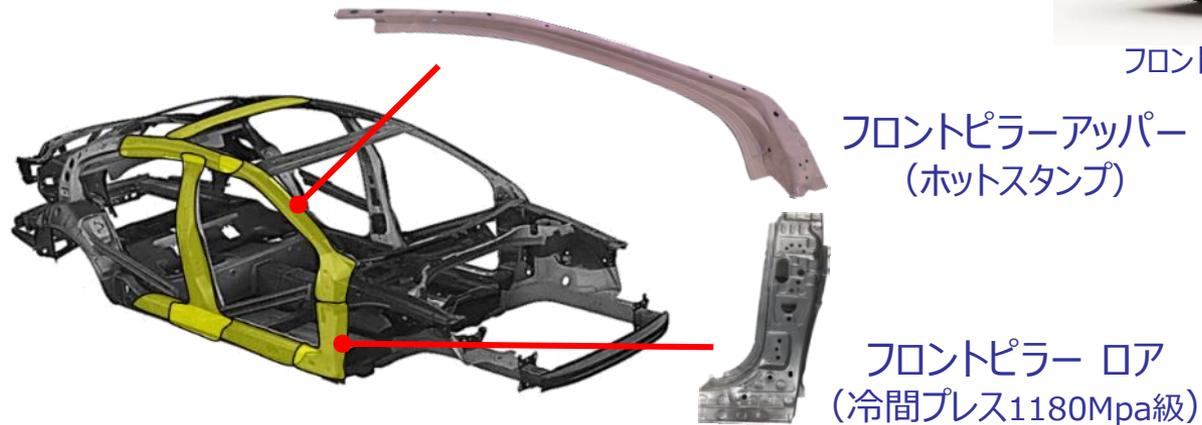
環境・安全性を追求し、骨格プレス部品を超ハイテン化

■ 形状が複雑な部位への採用拡大

- ・工法の研究・開発を行い、形状が複雑な製品の超ハイテン化など、採用拡大の取組みを実施



フロントピラー ロアはカローラスポーツに採用



■ 超ハイテン生産設備の整備状況

	日本			米国		中国	タイ	台湾
	大垣	九州	栗原	オハイオ	テネシー	天津	ラヨン	台中
冷間大型プレス	●	●	○	●	●	●	●	●
ホットスタンプ	●				●			

●:導入済み ○:導入中

- ・タイムリーに生産体制整備することで、受注機会を拡大。

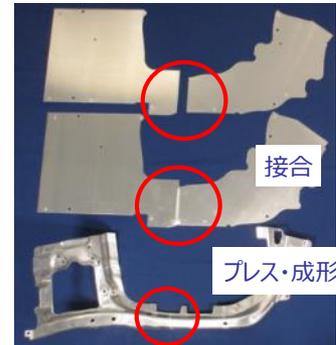
4-4 アルミ軽量化工法の開発

アルミプレス製品採用拡大により車体軽量化に貢献

■ 軽量化のための新工法(FSW)

- ・板厚の異なるアルミ材を接合後にプレス成形することで軽量化・低コスト化を実現

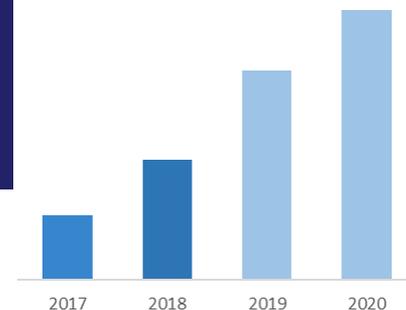
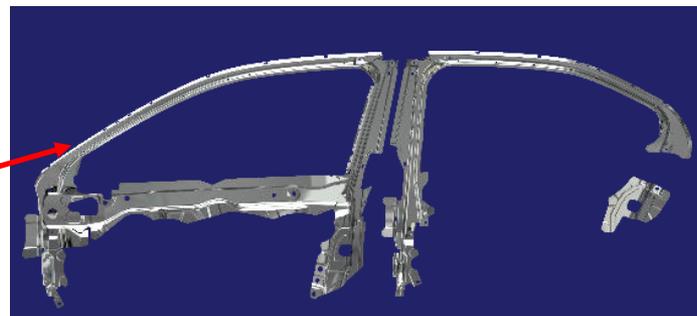
摩擦攪拌接合 (FSW)



アルミ生産設備導入で、福岡県より「グリーンアジア国際戦略総合特区」法人指定

■ 鉄からアルミへの置き換えによる軽量化

- ・ドアフレームをアルミFSWで量産化し、レクサスUXに採用



4-5 快適・環境性能向上樹脂製品の提供

新素材・新工法で機能向上と軽量化を実現

■ 樹脂フィルム・加飾技術の更なる進化

- ・メッキに代わる樹脂フィルム加飾技術により
軽量化とリサイクル性向上を実現
- ・タイをはじめ海外拠点でも採用拡大



フィルム加飾技術を用いた
センターオーナメント



タイ「VA Award」受賞

■ 防音・防振性能の向上

- ・NV性能(※)向上による、ウレタン発泡製品
- ・EVモーターノイズ、欧州騒音規制への対策



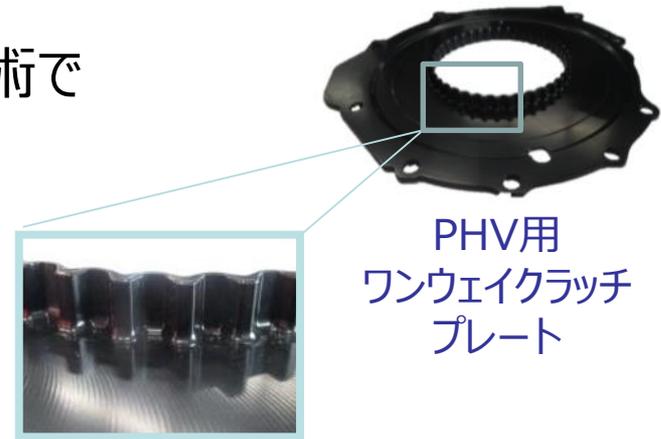
オールウレタンエンジンカバー

(※)NV性能 : Noise(騒音)、Vibration(振動)を低減する性能

4-6 鍛圧プレス・ダイカストで技術多様化

鍛圧プレス：複合技術で強度アップと軽量化

- ・板金成形と冷間鍛造を複合した板鍛造技術で「強度アップ」と「軽量化」を実現
- ・新型トランスミッション部品等に採用拡大
- ・日本、米国で生産体制を構築



PHV用
ワンウェイクラッチ
プレート

歯型成形

ダイカスト：軽量化と多品種展開（韓国拠点）

- ・カーエアコン用コンプレッサー部品の一貫生産体制を構築
- ・EV用電動コンプレッサー部品等、受注品目拡大



カーエアコン用コンプレッサー部品

4-7 新型車に搭載されるプレス・樹脂製品

新技術・新工法の採用状況



【プレス】

ハイブリッド車用
バッテリーケース

【プレス】

超ハイテン材部品
冷間プレス工法
ホットスタンプ工法



【樹脂】

オールウレタン
エンジンカバー



【プレス】

摩擦攪拌接合(FSW)
アルミ製部品



【鍛圧】

ガソリン車用
8速ATハブ



4-8 安全・環境に寄与するTPMS製品の拡充

新製品開発と中国拠点での生産能力増強

■ TPMSの進化

- ・送信部の小型・軽量化を実現
- ・バルブ部の取り外し、交換可能

■ 中国法制化

- ・'19年1月～新型車搭載
- ・'20年1月～継続車搭載 が決定

■ 日・米・中3極生産体制構築

- ・新タイプの生産体制構築完了

■ 二輪向け製品の提供

- ・国内外顧客向けに、大型二輪用TPMSを開発・量産化

■ アフターマーケット向け製品の開発

- ・北米アフターマーケット市場をターゲットに開発を推進

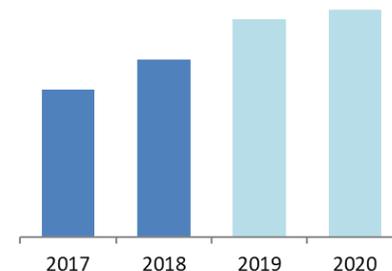


TPMS Eタイプ



二輪用TPMS

(TPMS : タイヤ空気圧監視システム)



TPMSの販売物量見込

■ 各地域の法制化の動き

地域	法制化開始時期
北米	2005年10月
欧州	2012年11月
韓国	2013年1月
台湾	2014年11月
ロシア	2016年1月
GCC	2017年モデル
中国	2019年1月
日本	未定

4-9 バルブ事業におけるシナジーの取組み

互いの優位点を取り入れシナジー効果を創出

■ 生産・販売で世界4極体制を実現

- ・'18年8月にSCHRADERバルブ事業を取得
- ・SCHRADERブランドとPACIFICブランドを融合し、事業に磨きをかける
- ・日本・米国・欧州・アジアで世界No.1をめざす



■ 販売・技術開発の競争力強化

- ・市場：新市場・新顧客への拡販
商品ラインナップの補完体制
- ・技術：新製品開発、製品技術の共有
固有技術を活用した工法開発
部品共通化、原価低減

【KAIZEN活動の様子】



4-10 様々な分野で活用されるバルブ製品

グループの技術力・販路を活かした開発・拡販を推進



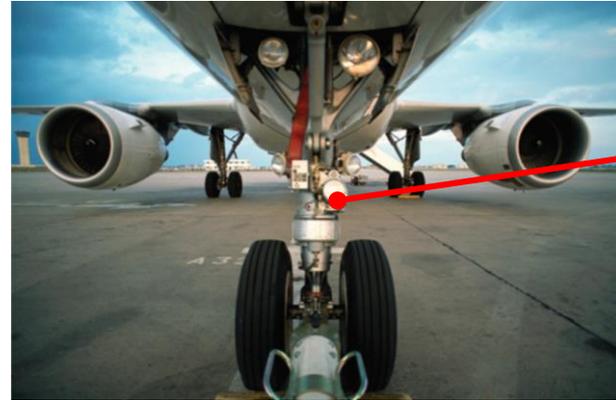
ホットガス
切替弁



エンジン
燃圧バルブ



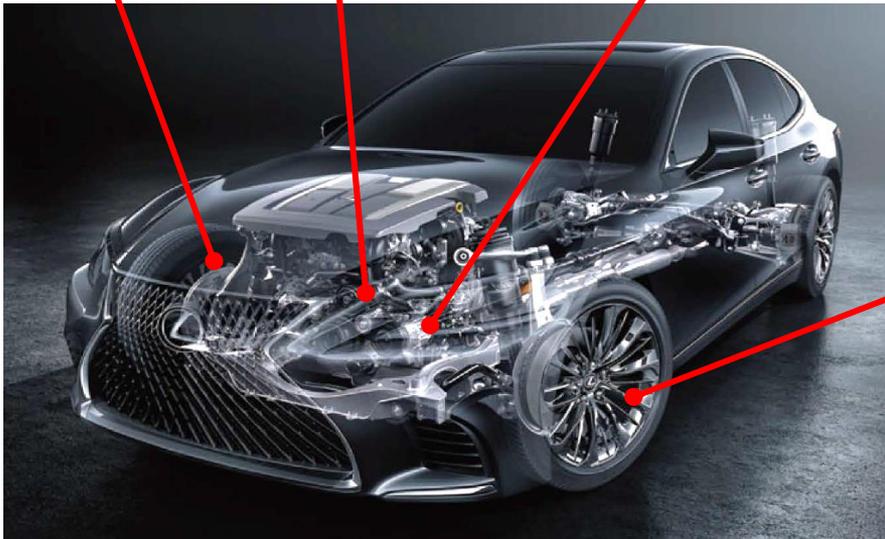
カーエアコン
関連バルブ



航空機用バルブ



産業用バルブ



TPMS



タイヤバルブ



4-11 新中期経営計画「OCEAN-22」

持続可能な成長に向けたものづくりと人財育成を推進

信 頼 *Trust*

- ▶ 収益力確保と企業価値の向上
- ▶ ガバナンス向上とリスク低減
- ▶ ESG経営による事業の充実

革 新 *Innovation*

- ▶ 開発・技術のイノベーションを実現
- ▶ AIとIoTを活用した生産技術の革新
- ▶ ものづくり改革による高効率なライン造り

挑 戦 *Challenge*

- ▶ SDGs目標に向けたグローバル経営の実現
- ▶ ダイバーシティの推進と次世代人財の育成
- ▶ チャレンジできる企業風土の醸成

4-12 価値創造モデル

豊かな生活と環境に「ものづくり」で貢献

社会的課題

気候変動、大気汚染、生態系の破壊
エネルギー資源の枯渇
交通事故、健康への被害

社内・社外の経営資源

財務資本 健全かつ安定した財務基盤

製造資本 生産設備・金型・ものづくりノウハウ

知的資本 開発・評価・解析技術

人的資本 国内外のグループ人材

社会・関係資本 ステークホルダーとの連携

自然資本 原材料
エネルギー資源

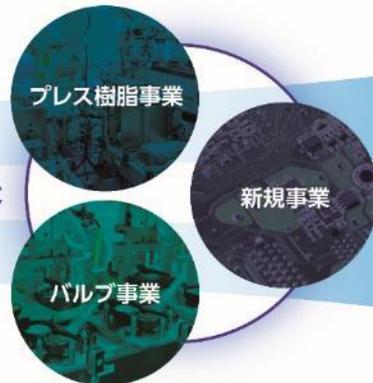
ビジネスモデル

リスク

- 自然災害などの影響
- 少子高齢化
- 国内外の政治経済情勢
- サイバーテロ
- グローバル競争の激化
- 人材確保・育成

機会

- 自動車市場の拡大
- 新興国市場の成長
- 安全・環境規制の強化
- 自動車の構造転換
- AI・IoTの活用



強み

- | | |
|----------------|--|
| プレス樹脂事業 | <ul style="list-style-type: none"> 軽量・高剛性を実現する超ハイテン材プレス成形技術 EV技術・フィルム加膜技術・NV性能制御技術 |
| バルブ事業 | <ul style="list-style-type: none"> バルブ：世界No.1シェアと世界4種の生産・販売体制
：流体制御・電動制御技術と多彩な製品ラインアップ TPMS：車載電装技術・圧倒的高品質と世界4種の生産・販売体制 |
| 新規事業 | <ul style="list-style-type: none"> 無線通信技術・センシング技術・AI技術 |

ブランドスローガン

思いをこめて、あしたをつくる

～Passion in Creating Tomorrow～

PACIFIC GLOCAL VISION

めざす企業像

- ステークホルダーに信頼され、地域社会に根ざし、共存・発展できる真のGLOCAL企業
- 持続可能な社会に向けて、コア技術を活かし、新事業・新製品・新技術を提供し続ける企業
- 社員の新しい発想や挑戦を大切に、仕事と生活の調和が実感できる企業

次世代技術・モビリティで輝きを放ち続けるビジネスへ

中期経営計画

OCEAN-22

2022年度目標

連結売上高 **1,750** 億円

連結営業利益率 **7** %台

ROA (営業利益) **6** %台

SDGsに貢献



CSRLレポート
P.11をご覧ください

PACIFIC VALUES 「夢と挑戦」「信頼と感謝」

4-13 ブランドスローガン

思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow

私たちは、安全・環境・快適性能向上に寄与する

新事業・新技術・新製品開発を通じて、

社会から信頼され、期待される企業として持続的な成長を続けていきたいと考え、

その思いを込めて、新たに“ブランドスローガン”を策定しました。

モビリティ社会を見据え、豊かで安全・安心な未来を提案できるものづくり企業、

そして、持続可能な社会の実現に貢献する企業をめざして、

情熱を持って未来を創造していきます。

